

バストス週報

第八五八号
 昭和四十一年十月十四日発行
 DIRECTOR KOITI MORI
 REDATOR SHION ODA
 RUA PRES. VARGAS 188
 C. POSTAL. 112
 FONE. 40
 BASTOS. C. P.
 ANUAL EM 1967 C.R. # 5.000

青嵐 39

奉加帖

昨年バストス総合会館建築案がきま
 募金運動もとんとん拍子に行つて、十六
 万と十七万とがの線を突然したとき
 て内心驚嘆したものであるが、この数
 月、すっかり鳴を鎮め、会館の力も
 あまり聞かぬ様になつてしまつた。
 どういうわけか、今年三四月頃か
 ともなく聞いた話では、奉加帖に御手
 とら、卯酉が急降下して、奉加帖に御手
 トと記入はしたが、すぐには出されな
 ことになつたのが実情であるようだ。
 立派な会館を建てようと思えば、少
 ぶん、ついてもらわねばならず、ふん
 づ、つてもらうには少々無理を云わねば
 らず、その所のかねあふんづつしても
 らうと、無理にたのんで、ふんづつして
 め、と、こんどは集金が思うようになら
 ることとなる。

金を集めてから工事にかかることか
 番正しい路ては、あるが、そのう
 い計画だと、バストス四十年、即ち来々
 年に間にあうかどうか、もし、現在のよ
 な金詰りが二年つづいたら、間に合はぬ
 ことになりはせぬか、いささか老練心
 過ざるさらいがあるが、景気回復を待
 て集金に着手するとなると、これは少
 からぬ後手であり、長引けば長引くほ
 寄付熱の冷却は必然であると思われ
 奉加帖の寄付額は十七万コントであ
 うとも、それは直ちに現金を意味しな
 い。しかも、これまでの実収金は、せい
 ぜい、ジープ購入費程度のものではな
 ったか。
 遅れると、当季者の焦燥はつるばかり
 ある。
 一体寄付は目当ても目論む会館建設の
 如きは、悠長に構えてはならぬ性質のも
 の、ばたばたと片づけたいと、隙間隙間
 に支障が入りこみやすいためである。
 募金運動の時は卵価上向きで景気がよ
 かつたから、少々無理をしてでも人並
 人並以上の寄付を記入できたが、一寸
 景気が下火になると、まるで不況を云草
 にひつそりとタンパシしまうこととなつ
 ば、やむを得ぬとは云い條當事者として
 も手際がよいとも言われまい。

HOTEL USSAMI



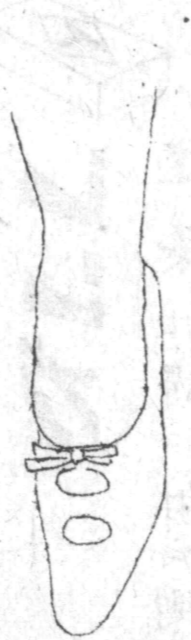
お泊りに
 御食事に
 御宴会とお仕出し

和洋御料理

うさみ

電話 二二二

Sapataria Bastos FON 55



優美 丈夫 廉価
 流行 どの線も万点

早川靴店

郵函一五九 電話五十五

こんなことを書いてある内、忽ち財界
 が好転して卵価も吊り上がるかも知れず
 続々と集金がころがり込むことを期待
 したい。
 さげば七、八、九月の候は毎年のおく卵価
 は勃発で十二月には頂上に達するよう
 ある。
 しかし、この事をあまく見てはいけな
 い。需要供給の関係がバランスをとつて
 いる内は、その通りであるが、近頃の

ように養鶏界への割込みが急激にふえて
 来ると生産過剰となる場合もあり得る。
 最近の牛肉不足による肉価の上昇は聖
 市の場合圧倒的庶民とは縁遠いものと
 言われるが、その割合に因縁がさげな
 いのは、まことに運命的な嗜好的ギマツ
 プがあるからだろう。
 オールボでもブラシルの消費量はまだま
 だ少ないといわれるが、それは人口対比
 であり、サンパウロ、などの大都会では
 改米並であって急速には卵人口がふえな
 ろうか。
 話が軌道はずれかかったが、バスト
 ス会館建設と卵価の関係は密接なつなが
 りがある。
 しかし、ここで手を緩めては前述の如
 く完成への道は塞がれてしまふ。
 そこでこれが打開案いかんと云う順序
 となるが、此処で当事者、奉加帖記入
 者が心を一つにして、真に一丸となつて
 会館完成に向う道は唯一つしかない。
 先ず第一奉加帖記入の三分の一、少額
 の部は二分の一、何をさておいても現金
 献納することである。
 当事者は逸早くマツパ（見積書をふく
 め）を作成して、予定の地域にレンガ其
 の他の資材を搬入し、工事に着手すべき
 である。
 たとえ、そこにレンガの一米でも積上
 げたら、移住地内の閉心は勿論、外部へ
 の影響は必ず盛り上つて来るにちがいな
 い。
 頃合を見計らつて州銀なり、カイシマ
 エコノミカなりに金融をたのんで、ばた
 ばたと予定の建物を作り上げてしまふこ
 とである。銀行の
 金融は親方だから低利である。うし
 五年以上十年位の返還期限がある。布
 設當時に四十年返還とさいて、その悠長
 さに呆然としたものであるが、付や十年
 に近ずきつある。
 その長い期限に奉加帖記入者に毎年プ
 レスタツソンで納入もらうようにすれば
 四方八方丸く納まるのではないか。
 これは筆者の案ではない、当事者各位
 奉加帖記入者各位のいつあらざるパルピ
 ッチであり、希望である。
 そういうわかり切つてゐる名案をなせ
 実行にうつさないか、最後の御奉公とい
 つて立ち上がつてゐる人たちが、
 奉加帖を泣かせないよう、がんばらう
 ではないか、
 糸音

FABRICA - GRANITO
 CONSERTA - SE TUMURO
 A.V. RIO BRANC O% ADAMANTINA
 FONE 515 C. POSTAL 23
 日本式 プラシル式
 墓 碑 記念碑
 胸 像 石 燈 籠
 石 白 石材彫刻一式
 古い墓もコンセルタ致します
 アダマンチーナ市
大西石碑工場
 大西文吉 電話五二五 郵局三三

OLARIA TANIGUTI
 RINOPLIS C.P. 167
 硬くて美しい
谷口の白色
 レンガ
 建築に坪に井戸側
 リノポリス郵局一六七
 谷口選

おしらせ
 例年のように墓地門前に出張
 いたしまして、墓参の方々に、ご便宜
 を計りますから、ご利用下さい。
花輪
れんげの花
ロソク
センコー
マツチ
 などお詣りに入用のものを、そろえ
 てございます
バストス
仏教婦人会

O CONCERTO de HIBARI-GAKUDAN
 REALIZAR-SE DIA 22 OUTUBRO às 19 HS.
 NO SALÃO de COOP. BASTOS

来る十月二十二日(土)午後七時
 会場バストス産業会館

ひばり楽団演奏会

応援 ツパン音楽倶楽部
 オクルス音楽団

入場券 前売中

久々にてすばらしい音楽会を催します
 御期待下さい
 出演希望歌手はなるべく早く申込み下さい
 (福森造)

小説

目屎齒屎(勝ち負け物語)四

怪文書の出所?

物の考え方がうばかりに国賊よばり
 をさされ、天に代って誅せられてはかな
 わない。

だから天誅される方の側でも、うかう
 かしでは居られず、一体バストスに頻々
 と送りこまれる怪ニュースはどこで作られ
 るものか、調べて見ようではないかと組
 合の田部君、中西君の二人がある日その
 巢窟と思われるマリリヤから聖市方面ま
 で足をのばすことになった。以下はその
 報告文の抜萃である。

八月二十二日午前十一時バストス登午
 後三時五十分の汽車で夕方マリリア着、
 汽車の中でマリリアの地理に詳しい高原
 君と乗り合せた。
 彼も時局の真相を調査のためマリリア
 に向うので、彼に案内させ、マリリア在
 住の四五人について聞き合せることとな
 った。

先ず快ニュースを自分で聴取していると
 いう佐々木氏を訪問したが、同氏には
 信念論で簡単に片づけられてしまった。
 ……ラジオは良くなりません。

ワシントン、ニューヨークが日本の爆撃で火の海となつて居るといふニュースは今日バスターから来た人の話です。私は半信半疑です……この青年は理性に訴へて批判して居るようだった。

もう一人、サンパウロのスイス領事館勤務の日本人から電話で日本大勝利を知りてくるのを受けついで居る人があり、そこを訪ねて見た。

そのニュースは一般から有力な手懸りとして流布されて居るらしい。

処が直接會つて見ると……私はそんな事は知らぬ、しかしこうなるのが当然である……又も強硬な信念論であつた。

夜十一時、ホテルに引上げ一泊。マリリマで得た結論は、マリリマ出所とされて居る快ニュースは、マリリマで出来たものかどうか疑問であること、マリリマのラシオは大体聴取困難であること、そして信念論が多いという印象のみである。

翌二十三日午後十一時サンパウロに着、車中パウロ在住の血盟団首領と自称する男と同車となる。

彼も時局真相を確かめようとして上聖するのだ相だが、パウロでも二派に分れて混頓として居るといふ話だった。

彼自身血盟団の首領といふだけであつて強硬な戦勝論者であるが、快ニュース出所がカンピナスやらマリリマやら信じかねて居る様子であつた。

尚ボンペイアで日本の国旗争奪戦を演じて日本人二十一人が逮捕されサンパウロへ護送されたと言つた。

ホテルクリスタールでは同室の人から快ニュースを聞いた。

それはスエデン領事館よりの発表で、文章も中々上手であるが、内容は一般に流布されて居るものと大差なく、唯スエデン領事館発表という点に希望が繋げられるわけである。

同室の曰く、隣室にバスターの柘原といふ人が居る。同氏はもつと委しい事情を知つて居るらしいと云ふことなりで、翌朝早速柘原氏の室を訪ねた。

と云ふのが柘原氏の見解は全く逆で、二人なものがあるに成らない。といわれる。

柘原氏の調査では、朝のニュース及び伯字新聞に出る記事が正しい。スエデン領事館に居る森田氏の話では快ニュースと全く反対のものである……と。

又その事は宮腰氏に會つて聞いたら……朝食後、海典の宮腰氏に面会を求めた。宮腰氏の話は簡單明瞭であつた……私は朝のラシオを聞き又新聞(宿字)を讀んで居る、そしてそれを信じて居る。

この事実を信ずる私を国賊と云うなつてお詫びしなさい。信念のない奴ども改るなつてお詫びしなさい。もし幸いにも私の見方が間違つて居たら、其の時は地に頭をすりつけてお詫びしなさい。

しかし私の見方が正しかつたら私も男一匹、ただではおかないつもりです……又、スエデン領事館の森田氏をして、オの早尾氏(大使館留守役)に問ひ合せたが、早尾氏は今の処何等公報に接して居ない。しかし残念ながら伯新聞記載の記事が事実と思われ……という返事であつた。

又スエデン領事館を訪問して尋ねて見ると、ほぼ同様で、日本人一般は私の事を信じてくれないのが遺憾に思うとの事であつた。

中央会の石川氏の意見をきくと次のようであつた。

……いまはつさり何も云えないが、実は中央会内閣でも両派に分れて居る。同じ朝のラシオをきいても小倉氏は日本の不利というし、又某氏はその反対で有利のようになつて居る。

双方に論拠があるが、悲觀論といつても考ふる程日本不利でもあるまい。

所謂講和の形式で停戦協定が出来るのではないか。昨日コチマの下元氏と宮腰氏(私(石川氏))と會談したが、下元氏がコチマ評議員会で発表するのだから正しいと思ふ事を説いてくれと云われた。所が早尾氏の言もあり、私の見方から言つても日本には有利でないことが真相であるうと宮腰氏は云つて居た。

廿三日午後四時、脇山氏を訪問。途中元文教普及会藤田理事の家で時局談を伺つたが、藤田氏の認識論には心打たれるものがあった。

脇山氏のもとには所謂快ニュースが各所から殺倒する……

これらのニュースは必ずしも確報とは云えないが、斯う信じて差支えない……と発言され、日本が原子爆弾の一ツや二ツで参るものではない……と言われたが、その言葉には力がなかつたように思う。奇怪なことには停戦後に出たという勅語である。

その内容は「日本民族 恒久のため戦争を継続し陸海軍はその目的を貫徹せよ」といふ一文もある。

これらのニュースは大日本忠道青年会責任という署名入りであるが、柘原氏の話によると、脇山氏の息子(一郎氏)が新聞紙上掲載禁止のニュースを知己の官憲から貰つたものであるという事だ。快何か内容ははつきりわからないが、快ニュースであつた。

この事実を信ずる私を国賊と云うなつてお詫びしなさい。信念のない奴ども改るなつてお詫びしなさい。もし幸いにも私の見方が間違つて居たら、其の時は地に頭をすりつけてお詫びしなさい。

しかし私の見方が正しかつたら私も男一匹、ただではおかないつもりです……又、スエデン領事館の森田氏をして、オの早尾氏(大使館留守役)に問ひ合せたが、早尾氏は今の処何等公報に接して居ない。しかし残念ながら伯新聞記載の記事が事実と思われ……という返事であつた。

又スエデン領事館を訪問して尋ねて見ると、ほぼ同様で、日本人一般は私の事を信じてくれないのが遺憾に思うとの事であつた。

中央会の石川氏の意見をきくと次のようであつた。

……いまはつさり何も云えないが、実は中央会内閣でも両派に分れて居る。同じ朝のラシオをきいても小倉氏は日本の不利というし、又某氏はその反対で有利のようになつて居る。

双方に論拠があるが、悲觀論といつても考ふる程日本不利でもあるまい。

所謂講和の形式で停戦協定が出来るのではないか。昨日コチマの下元氏と宮腰氏(私(石川氏))と會談したが、下元氏がコチマ評議員会で発表するのだから正しいと思ふ事を説いてくれと云われた。所が早尾氏の言もあり、私の見方から言つても日本には有利でないことが真相であるうと宮腰氏は云つて居た。

廿三日午後四時、脇山氏を訪問。途中元文教普及会藤田理事の家で時局談を伺つたが、藤田氏の認識論には心打たれるものがあった。

脇山氏のもとには所謂快ニュースが各所から殺倒する……

これらのニュースは必ずしも確報とは云えないが、斯う信じて差支えない……と発言され、日本が原子爆弾の一ツや二ツで参るものではない……と言われたが、その言葉には力がなかつたように思う。奇怪なことには停戦後に出たという勅語である。

その内容は「日本民族 恒久のため戦争を継続し陸海軍はその目的を貫徹せよ」といふ一文もある。

これらのニュースは大日本忠道青年会責任という署名入りであるが、柘原氏の話によると、脇山氏の息子(一郎氏)が新聞紙上掲載禁止のニュースを知己の官憲から貰つたものであるという事だ。快何か内容ははつきりわからないが、快ニュースであつた。

この事実を信ずる私を国賊と云うなつてお詫びしなさい。信念のない奴ども改るなつてお詫びしなさい。もし幸いにも私の見方が間違つて居たら、其の時は地に頭をすりつけてお詫びしなさい。

しかし私の見方が正しかつたら私も男一匹、ただではおかないつもりです……又、スエデン領事館の森田氏をして、オの早尾氏(大使館留守役)に問ひ合せたが、早尾氏は今の処何等公報に接して居ない。しかし残念ながら伯新聞記載の記事が事実と思われ……という返事であつた。

又スエデン領事館を訪問して尋ねて見ると、ほぼ同様で、日本人一般は私の事を信じてくれないのが遺憾に思うとの事であつた。

中央会の石川氏の意見をきくと次のようであつた。

……いまはつさり何も云えないが、実は中央会内閣でも両派に分れて居る。同じ朝のラシオをきいても小倉氏は日本の不利というし、又某氏はその反対で有利のようになつて居る。

双方に論拠があるが、悲觀論といつても考ふる程日本不利でもあるまい。

所謂講和の形式で停戦協定が出来るのではないか。昨日コチマの下元氏と宮腰氏(私(石川氏))と會談したが、下元氏がコチマ評議員会で発表するのだから正しいと思ふ事を説いてくれと云われた。所が早尾氏の言もあり、私の見方から言つても日本には有利でないことが真相であるうと宮腰氏は云つて居た。

廿三日午後四時、脇山氏を訪問。途中元文教普及会藤田理事の家で時局談を伺つたが、藤田氏の認識論には心打たれるものがあった。

脇山氏のもとには所謂快ニュースが各所から殺倒する……

これらのニュースは必ずしも確報とは云えないが、斯う信じて差支えない……と発言され、日本が原子爆弾の一ツや二ツで参るものではない……と言われたが、その言葉には力がなかつたように思う。奇怪なことには停戦後に出たという勅語である。

その内容は「日本民族 恒久のため戦争を継続し陸海軍はその目的を貫徹せよ」といふ一文もある。

これらのニュースは大日本忠道青年会責任という署名入りであるが、柘原氏の話によると、脇山氏の息子(一郎氏)が新聞紙上掲載禁止のニュースを知己の官憲から貰つたものであるという事だ。快何か内容ははつきりわからないが、快ニュースであつた。

この事実を信ずる私を国賊と云うなつてお詫びしなさい。信念のない奴ども改るなつてお詫びしなさい。もし幸いにも私の見方が間違つて居たら、其の時は地に頭をすりつけてお詫びしなさい。

しかし私の見方が正しかつたら私も男一匹、ただではおかないつもりです……又、スエデン領事館の森田氏をして、オの早尾氏(大使館留守役)に問ひ合せたが、早尾氏は今の処何等公報に接して居ない。しかし残念ながら伯新聞記載の記事が事実と思われ……という返事であつた。

又スエデン領事館を訪問して尋ねて見ると、ほぼ同様で、日本人一般は私の事を信じてくれないのが遺憾に思うとの事であつた。

中央会の石川氏の意見をきくと次のようであつた。

……いまはつさり何も云えないが、実は中央会内閣でも両派に分れて居る。同じ朝のラシオをきいても小倉氏は日本の不利というし、又某氏はその反対で有利のようになつて居る。

双方に論拠があるが、悲觀論といつても考ふる程日本不利でもあるまい。

所謂講和の形式で停戦協定が出来るのではないか。昨日コチマの下元氏と宮腰氏(私(石川氏))と會談したが、下元氏がコチマ評議員会で発表するのだから正しいと思ふ事を説いてくれと云われた。所が早尾氏の言もあり、私の見方から言つても日本には有利でないことが真相であるうと宮腰氏は云つて居た。

廿三日午後四時、脇山氏を訪問。途中元文教普及会藤田理事の家で時局談を伺つたが、藤田氏の認識論には心打たれるものがあった。

脇山氏のもとには所謂快ニュースが各所から殺倒する……

これらのニュースは必ずしも確報とは云えないが、斯う信じて差支えない……と発言され、日本が原子爆弾の一ツや二ツで参るものではない……と言われたが、その言葉には力がなかつたように思う。奇怪なことには停戦後に出たという勅語である。

その内容は「日本民族 恒久のため戦争を継続し陸海軍はその目的を貫徹せよ」といふ一文もある。

これらのニュースは大日本忠道青年会責任という署名入りであるが、柘原氏の話によると、脇山氏の息子(一郎氏)が新聞紙上掲載禁止のニュースを知己の官憲から貰つたものであるという事だ。快何か内容ははつきりわからないが、快ニュースであつた。

この事実を信ずる私を国賊と云うなつてお詫びしなさい。信念のない奴ども改るなつてお詫びしなさい。もし幸いにも私の見方が間違つて居たら、其の時は地に頭をすりつけてお詫びしなさい。

しかし私の見方が正しかつたら私も男一匹、ただではおかないつもりです……又、スエデン領事館の森田氏をして、オの早尾氏(大使館留守役)に問ひ合せたが、早尾氏は今の処何等公報に接して居ない。しかし残念ながら伯新聞記載の記事が事実と思われ……という返事であつた。

又スエデン領事館を訪問して尋ねて見ると、ほぼ同様で、日本人一般は私の事を信じてくれないのが遺憾に思うとの事であつた。

中央会の石川氏の意見をきくと次のようであつた。

……いまはつさり何も云えないが、実は中央会内閣でも両派に分れて居る。同じ朝のラシオをきいても小倉氏は日本の不利というし、又某氏はその反対で有利のようになつて居る。

双方に論拠があるが、悲觀論といつても考ふる程日本不利でもあるまい。

所謂講和の形式で停戦協定が出来るのではないか。昨日コチマの下元氏と宮腰氏(私(石川氏))と會談したが、下元氏がコチマ評議員会で発表するのだから正しいと思ふ事を説いてくれと云われた。所が早尾氏の言もあり、私の見方から言つても日本には有利でないことが真相であるうと宮腰氏は云つて居た。

廿三日午後四時、脇山氏を訪問。途中元文教普及会藤田理事の家で時局談を伺つたが、藤田氏の認識論には心打たれるものがあった。

脇山氏のもとには所謂快ニュースが各所から殺倒する……

これらのニュースは必ずしも確報とは云えないが、斯う信じて差支えない……と発言され、日本が原子爆弾の一ツや二ツで参るものではない……と言われたが、その言葉には力がなかつたように思う。奇怪なことには停戦後に出たという勅語である。

その内容は「日本民族 恒久のため戦争を継続し陸海軍はその目的を貫徹せよ」といふ一文もある。

これらのニュースは大日本忠道青年会責任という署名入りであるが、柘原氏の話によると、脇山氏の息子(一郎氏)が新聞紙上掲載禁止のニュースを知己の官憲から貰つたものであるという事だ。快何か内容ははつきりわからないが、快ニュースであつた。

翌朝（八月廿四日）松本日出夫君がホテルに遊びに来たので様子を見たとテラ拓内部に於ては宮鹿氏を除く外は殆んど新聞の論調が正當と見てゐるとの事だ。松本君の話によつて、ある独逸婦人がエスタード紙に掲載されてゐた停戦の勅語を読み乍ら泣いてゐたといふ事である。人類平和のため停戦される宏大無辺なる御仁慈の有難さに感激したのであらうとのことであつた。

後日一伯人ドールが矢張り勅語に感激して涙を流したといふ話を清水氏から聞いたが従せて吾々の感銘は深いものであつた。

次にサンベルナルド在任の石井氏を訪問。折よく、ブラ拓の井久保、傳田、清水の三氏が参つて居り、これらの人達から総合的な話を聞いたが、こゝへ来ては最早この真偽などを確める等は、その認識の不足を笑われる程に決定的事実として扱われてゐる。此の事實の前に今後の在伯邦人の在り方について対策を講ずるに話は進んでゐる。

此の部落は瑞穂植民地といつて、菊地安藤全八石井松本氏などといふ認識の願振れの居る処で、彼らは今後日本の不利な停戦によつて派生する処の在伯同胞の日本文化吸収は愈々不活流になるであろうとの見地から、サンパウロを在伯邦人の中心地として、強力な指導組織を持たなければならぬといふ意見である。私達の訪問した日も何かさういふことについて具体的な相談があるらしかつた。細江ドールも来る筈であつたが感冒のため欠席の事であつた。

去日細江ドールが「日本は大勝利であるから心細くないようにしと或る人を通じてバスタードに戦勝報をもちたされた事があつたので、清水氏（細江診察所の人）にさいてみたが、細江ドールは十五日以後を人な発言はしてない筈だといつた。即ち現在の日本の不利な立場を認め得るからである。

傳田氏（パリアン）移住地支配人）はアリアンサの青年達から真相について知らせてくれと頼まれてゐるが、皆が勝利であるとの希望を持つてゐる所へなまなましい真実を知らせるに忍びないので、まだ知らせていないとの事であつた。午後七時半帰宿。

翌朝（八月廿五日）バウルの血盟団の首領と自称する者と同道してピニエーロス在住古沢齒科医を訪問した。彼も毎日ラジオを聴いてゐるが実際の所良くも悪くも断片的ではあるが決して貴族でない。だが断片的ではあるが決して貴族でないといふ。彼は語つていたが、彼の語るところ、部分的には私がかいてい

御 礼

金一封 也

過日貴組合が慰安ピクニックを催されました際、神社の維持費として前掲金額の御寄贈下さいました。

御持志ありがたく御礼申上げます

エスペランサ区

祖 神社氏子総代

バスタード 養蚕組合様

御 礼

去る十月廿三日正午内馬場氏の土地より火を失し同氏の鶏舎二棟を焼する事になり起りました。その節速早く大勢の方々が駆けつけ下さいました。防火消火に御尽力賜かりました誠にありがとうございます。茲に厚く御礼を申上げさせていただきます。

シヤカラ区 在任各位

其の他 の 各位

句 会 案 内

来る十一月六日（日）午後七時より

場所 コチヤ村 佐藤耕雨居

兼 題。紅千鳥（べにちどり）春咲きの蘭で
学名ソフロニッチ、大輪朱色の英花

打水（うちみず）水まく

例句 水打そ風鈴いまだ鳴らぬなり。 虚子

例句 胡（こ）の火鏡提かたり山仕事。 龍吟

例句 胡（こ）の火鏡提かたり山仕事。 龍吟

例句 胡（こ）の火鏡提かたり山仕事。 龍吟

同好の士の御参加を歓迎致します。 仙入堂社

たことと一致してゐる。だがその断片的な言葉をよむ方、都合のよい方に解釈してゐるのである。

娯楽の復活、燈火管制の廃除、などは日本が勝つてゐるから行なえるのであつて決して負けたのではない。新日本建設という言葉は戦勝の上には用いられるのである。と前後の言葉に連絡がなく断片的な言語を有利に解釈をした見方をしているものである。私達がホーリ朝のラジオで聞いた言葉、敗戦の理由（原因）に就いた時、彼古沢は非常に興奮して、今迄に於て日本が敗戦した理由をどこに認めるか、と頭を悩まして之れを否定する。私達のこれまでかきかき耳にした事柄に対しては全然耳を

GINÁSIO SÃO JOSÉ DE BASTOS

(4ª SÉRIE DIURNO)

- 1º LUGAR - HELENA YOSHIE WAKANO
 2º " - TOSHIE FUNABE
 3º " - JORGE HIRATA

4ª SÉRIE NOTURNO

- 1º LUGAR - JOSÉ MARTINS DE NEGREIRO SOBRINHO
 2º " - MARLENE HAYAKAWA
 3º " - HAJIME ABE

ESCOLA TÉCNICA DE COMÉRCIO SÃO JOSÉ

- 1º LUGAR - IKUKO IKEDA
 2º " - DANIEL KAZUMI MORISHIGUE
 3º " - SILVIA YUKIKO IKEDA

GINÁSIO ESTADUAL BASTOS

- 1º LUGAR - CECILIA KOBAYASHI
 2º " - HIROKO NISHIDA
 3º " - HISAE MAEDA

GRUPO ESCOLAR "AGUIA DE HAIA" (4º ANO B. MASC)

- 1º LUGAR - HÉLIO TADAO GOTO MÉDIA - 92.8
 2º " - JÚLIO TAKASHI MIYAZAKI MÉDIA - 92.5
 3º " - TATSUMASA TAKEUCHI MÉDIA - 83.3

ESCOLA "SÃO PAULO" CORTE E COSTURA (ITO)

- 1º LUGAR - ZILDA TOYOSHIMA
 2º " - ADÉLIA YANAKA
 3º " - LUIZA TAKEHARA

"ESCOLA BASTOS" DE CORTE E COSTURA

- 1º LUGAR - IDA MITSUKO KONNO
 2º " - YOMIKO MIKI
 3º " - MARIA NAOKO KURITA

伊佐中吉川板上井本藤矢若西畑吉
 藤藤野 邊垣山 上田田野野 中浦
 トか米 イ 源 佐 静仙秀
 キほ太一サハ明次一太武耕 次次
 子る郎郎ノル彦郎男郎男 郎郎
 殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

井岡白栢長味伊古板本桑山栖吉
 上本 野野 勢賀垣田原中原 田
 井 橋 島 久 興
 孫一 益 光義繁泰正次三義三
 六二務子智天忠雄熊雄郎郎 吉
 殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿殿

草分会員御芳名

御 禮

私たち卒業生に奨学のため、草分会の皆様から記念品をお贈り頂きまして、誠にありかとうございます。皆様の御期待に副いますよう、向後とも一生懸命勉強するつもりでございます。紙上をかりて御礼を申し上げます。

1965年12月卒業生

12 pg

○各区青年団より選抜弁士の競演
○火を吐く熱弁をお聴き下さい

森論大会

○日本語の部と葡語の部

出演者は早く係りへ申込んで下さい

○期日は十月下旬
○主催はバストス産業会館
○連合青年団

寄稿

足跡

城開け渡し
福滝温

石の上にも三年と言うが、バストス製
糸工場に働く事や、三年して仕事も幾
分判りかけて来てこれからは思ってい
る内に、突然、上田主任以下幹部連中五
人、全部枕を並べて打ち死と言う事態が
起った。
お前達の経営は誠に杜撰で、毎年赤字
許りで、此れ以上直営は続行出来ないか
ら第三者に貸貸にするので辞めて貰うと
言う事である。
辞めさせるならそれも致方ないが、一
言半句事前の諒解もなく、全く寝耳に水
で、周章狼狽したのが如何せん、事は既
に決定済で、後の祭りであつた。
そして経営引受人は現GⅡに居られ
る吉浦秀次郎氏であつた。同氏は此のお
膳立には直接関係して居られなかつたと
思うが、我々の耳に入るのには、或る二三
の人達の陰謀だと言う雑音であつた。
それを幾分信じさせるかの様に、当時

の拓務係長、末松緑氏の自筆のかり印刷
の人名文が配布された。
これはブラ拓としては異例とも言えた。
半官半民の拓植会社の直営である。人名
文も何も必要はない。我々現場の者を呼
んで、これこれ云々と説明すれば済む事
と思つた。
それを抜打ちに一方的通知で処理し、
その反面仰々しく人名文を一般に配布し
た。而もその人名文は我々には配られな
かつた。そこで私は手を廻して一枚入手し
、極く最近まで保存して置いたが、仕事
やめ、現職を退き、旁々当時の関係者も
殆ど他界されたので、他の参考物と一緒
に焼却して了い、此の文の参考に使せな
いのが心残りである。
或は現存者も猶一あるもので、それら
の人に聞けば真相が知れるかも知れない
。尤もほんとうの真相が知れるかどうか
は疑問だが、
陰謀があつたと思われ、今一つの理由
は、人名文にも載つていた、製糸工場は
故損許りと言ふ点である。
勿論上田氏はバストスの更生は養蚕
を置いて他に無しと信じて居られ、何事も移
住地更生第一義で、頗る積極的で、畑中
支配人以下現地事務所の職員は勿論、時
には本部の意向も無視せん許りで打して

押しつけて押しまくり、種々の方策を強行し、配はなかつた。これでも之は温情的な事であらう。感に障り、煙たかられ、或は脱まれる。大きな原因であつた事は察せられる。自然製糸の経営は移住地厚生策の方の費用まで抱え込む訳で、赤字は当然であつた。

其の上、其の頃生糸の生産原価は六十針位であり、生糸相場は六十針前後がよい処で、一針五針位の缺損は百も承知であつた。上田氏は是位の缺損は止むなと歯牙にもかけず、荒廢地区厚生に大童であつた。

然し一九三五年一年に就いて言へば此の年の缺損は我々現場の従業員には全責任はなかつた。と信ずる。何故なら一般に市況はどんなものでも起伏の波がある。良かつたり悪かつたり、そして大抵一年良いと次二三年悪いのが通り相場と思つた。

生糸界は、三十五年は丁度好況の有卦に入る年であり、十二月過ぎると其の微向が覗きかけて居た。即ち生糸相場は六十から、七十、八十、九十とどんどん上昇して行つたのである。

処がである。聖市の生糸売却係は一向に生糸を賣らうとしない、買手が百針と言へば、百五針と釣り上げ、百五針掛うと言へば百十針でなければと強氣一点張り。此の空気を察した私は上田主任に直ぐ上聖して生糸を賣却せねばと進言した。

処が上田主任は、聖市には更級以下専門の係が居る事故、我々現場の者からのさげり出ても仕難があるまい、憎まれるのが関の山と腰を上げられない。憎まれる私ば此の好況に少しも生糸を賣つて敵損を補填せねばと、気が気でない。

相場は何時か崩れるもの、万一賣却せぬ中に崩潰したらと再三に亘つて上聖を進言したが、入れられなかつた。其の中聖市の係からは、糸価は遂に百二十針になつたと通知が来たが、売らない相場は何にもならない。そうして、糸価はそこが天井であつた。

あと、買手の足はパツタリ止み、反面本部は年度末の決算の爲、金策上、約二千餘の在庫生糸を全部売却整理したが、其の値段はタツタの五十五針であつた。二十針の百二十針で賣れば、当時金で百コントス以上の利益が出る。ドルにして三万米程と言う。これは僅か二十金の小工場としては莫大なる利益であつた。

結果は其の年度の赤字が我々現場の責任として片附けられたのであるが、我々には責任は無い筈であつた。然し我々五名は何れも皆移住地事務所へ引き取られたので、差當り、生活の心

配はなかつた。これでも之は温情的な事であらう。而も煙たがられる人の下で働くのから気持がよい筈がない。皆憂な顔をして働いて居たので上の人の受も良からう筈はなく、その中に段々一人、二人と姿を消して行つた。幸、私は会計係の親習として、十四部門あつた独立会計の帳簿整理をやらされ行きがかり上、製糸の生糸の出荷や、月末の在庫調査の秤量に立ち會う事になつた。

吉浦氏との契約は工賃請負制で一社の生糸に工賃幾何を拂うと云うもの。従つて毎月バラバラの必要があり、調査の結果を上司に報告。其の成績が工賃を支拂つてくれたのだが、上田主任は比較的従業員を優遇する方針であつた爲、おとを引受けられた吉浦氏からトコ口勘定はそう樂ではない様に思つた。

其の私も二年の見習の末、トレスバラ移住地(現アサイ)の会計主任に抜擢され、兼任したのせ、バス上及びその縁中断は於ける身辺難記思い出話も之で一時筆を揃く事にす。

おしらせ

養鶏家の皆様へ御奨め
一般の御宅でも電気引込箇所とりつけると安心です

○自動式フジール

○漏電に依る危険と火事の予防
ノビダーデでは有りませんが未だ講入されない方にお奨めします

○電気シルクイッチ(接觸)と同時に自動助に電流が絶縁され、電球も焼けず又発火の恐れも有りません

○白米
デフレに成るとは云え白米は品不足で強気
デフレに對應して最低値段にて日用品は是非安価な

前山商店

電話 二六番

1966年 九月分 バストスの気温と降雨量 フラタク製糸会社 測候部

項目 日	気温 ℃	湿計 ℃	湿度 %	最 高 温	最 低 温	降雨量 mm	風 向	天 候	雲 量
1	19.0	18.0	89	20.0	18.0	11.5	N	☉	10
2	18.0	17.0	89	20.0	17.0	15.0	N	☉	10
3	17.0	16.0	88	21.0	15.0		E	☉	9
4	18.0	16.0	78	28.0	15.0		E	☉	5
5	23.0	19.0	63	30.0	15.0		E	☉	
6	25.0	20.0	58	32.0	17.0		E	☉	
7	28.0	19.0	36	33.0	20.0		E	☉	
8	25.0	17.0	39	33.0	17.0		E	☉	5
9	28.0	19.0	36	34.0	17.0		E	☉	7
10	27.0	20.0	43	35.0	19.0		N	☉	
11	27.0	18.0	35	35.0	16.0		W	☉	
12	27.0	17.0	29	35.0	15.0		N	☉	
13	29.0	20.0	37	35.0	16.0		E	☉	
14	29.0	24.0	60	36.0	15.0		N	☉	
15	27.0	18.0	35	34.0	15.0		N	☉	5
16	22.0	17.0	55	26.0	18.0		S	☉	6
17	22.0	17.0	55	25.0	16.0		S	☉	4
18	20.0	16.0	61	28.0	15.0		S	☉	5
19	16.0	11.0	49	21.0	10.0	7.5	S	☉	9
20	20.0	18.0	75	26.0	14.0		S	☉	8
21	18.0	14.0	59	26.0	0.8		S	☉	
22	18.0	14.0	59	25.0	0.9		E	☉	
23	19.0	16.0	65	29.0	10.0		E	☉	
24	20.0	16.0	61	29.0	10.0		E	☉	
25	24.0	16.0	38	33.0	12.0		E	☉	
26	28.0	22.0	53	34.0	13.0		W	☉	
27	19.0	17.0	75	35.0	14.0		E	☉	
28	19.0	18.0	89	22.0	15.0		E	☉	7
29	22.0	19.0	89	29.0	12.0		E	☉	6
30	24.0	21.0	72	23.0	16.0		E	☉	
合計	678.0	530.0	178.6	882.0	423.7	34.0			
平均	22.6	17.6	5.9	29.4	14.1				



Tempero de Alta Qualidade 99.9%
Glutamato de monosodio 99.9%

SUPER AJI

聖市ルア。ガルボンフエリ街二二番七階。

遠藤貿易株式会社

スパ味

たへもの屋めぐり

田舎風・手打ちうどん

東京「のり」
銀座「のり」

こんどできた新マツダビルの地下に手打ちうどんを食わせる掛茶屋風の店が開業した。この店特有の工夫がこらしてあるから、おもしろい。この店特有の肉入りかけうどん、大で百五十円、小が百円。もりうどん八十四円、ザルうどん百三十円、そばろざる百六十円。
三色香りがるといふのは、ゴマとシイタケをのせたのと、青ノリをかけたのと、浅草ノリとワサビをあしらったのと三種でできて、ひとつひとつダシの味が違う。これで二百円とけ安い

暑さのための食欲不進はスパ味で解消

スパ味はこの店にもあります



RATTEC の新製品

合理的飼料配合は

POLIMIX

ポリミックス

病気の予防、ストレスの解消には

PANFRAN

パンフラン

完全消毒殺菌は

ORTOZOL

オルゾール

REPRESENTANTE YONOSUKE YAMANAKA
 RUA PRES. VARGAS 189 LIVRARIA STA. TERESINHO-
 FONE 105 C. POSTAL 130 KOBAYASHI
 RUA 10 de NOVEMBRO 446 Nº 1273 P. VENCESLAU E. F. S.
 RUA JOSE BONIFACIO 278. 2º AND. Nº 208 Nº 9196 S. PAULO

バストス地方代理人 山中陽之助

Aviso de Cine Pastos

十月十四日(金) 十五日(土)
 東宝 キヌカ 三般敏郎 山村聡 中丸忠雄
 天然色 敵中横断八百混 東海軍を震撼 光栄カ大作戦 平田昭彦 久保明 土屋善男
 十月十六日(日) 十七日(月)
 松竹 狐独 橋幸雄 桑野みゆき
 天然色 夏が若者の木にギリを 海が若い命を狂わせる 早川保
 十月十八日(火) 十九日(水)
 松竹 はだしの花嫁 信賞千恵子 早川保
 天然色 日本よいとこ おかー在東京 国際文藝劇 宝田明 北あけみ
 東宝 やぶにらみ日本 小林桂樹 H. エリック
 十月二十三日(日) 二十四日(月) リリッ
 東映 あの雲に歌う 本間千代子 岡崎二郎 西郷輝彦
 三ツト 青春に魂をよせて 千代子が唄えばみんなもうたう 本間 西郷と千代子恋人たち シマニーズ 長沢純
 十月二十八日(金) 二十九日(土)
 東映 ひも 緑魔子 中原早苗 春川ますみ
 梅宮辰夫 桑原幸子
 十月三十日(日) 三十一日(月) 十八才以上
 松竹 からみ合い 岸恵子 川津祐介 渡辺美佐子
 中代達也 芳村真理
 美顔の蔭に秘められた女心は、手に汗握るサスペンス
 大入満員御礼